

共生社会実現に向けたeスポーツ活用セミナー ご報告

2024.11.2

一般社団法人日本eスポーツ連合

実施概要

■ 共生社会実現に向けたeスポーツ活用セミナー

時 期：2024年11月2日（土）13:30～16:30

場 所：esports 銀座 studio ※コナミクリエイティブセンター銀座内

参加者：東京都他自治体関係者、eスポーツ関係者

参加費：無料

参加者：27人（現地参加11人、オンライン参加16人）

内 容：eスポーツを取り巻く現状および自治体主催のeスポーツイベント事例紹介

障がい者・高齢者向けeスポーツ導入方法の紹介

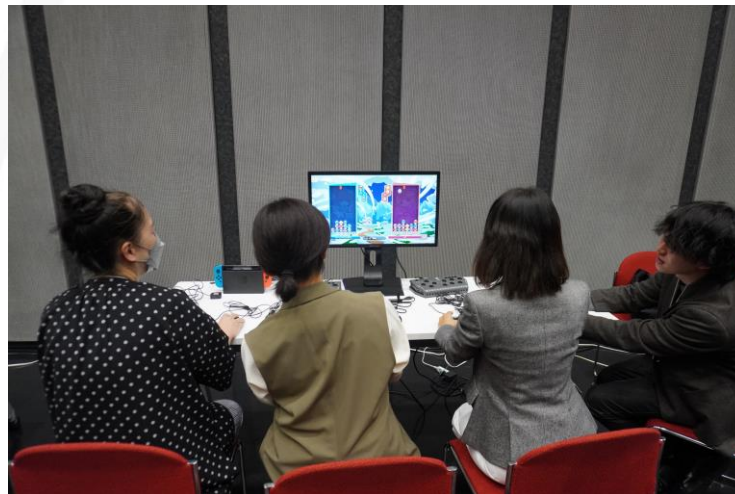
東京都作業療法士会によるeスポーツ支援活動の紹介

アクセシビリティ機器を用いた各種eスポーツの体験

スケジュール

時間	内容	担当
10:00	スタッフ集合・会場設営開始	
12:30	オールスタンバイ	
13:00	開場	
13:30 - 14:10	開会挨拶 セッション1: eスポーツを取り巻く現状 自治体主催のeスポーツイベント事例紹介と成功のポイント	井澤事務局長
14:10 - 14:20	休憩	
14:20 - 14:50	セッション2: 障がい者・高齢者向けeスポーツ導入方法	作業療法士会
14:50 - 15:10	セッション3: 東京都作業療法士会によるeスポーツ支援活動の紹介	作業療法士会
15:10 - 15:30	質疑応答	
15:30	閉会の挨拶①	井澤事務局長
15:30 - 16:30	体験型eスポーツブース - 高齢者・障がい者対応設備の実演および体験	田中医事委員
16:30	閉会の挨拶②	
18:00	撤収	

会場の様子①



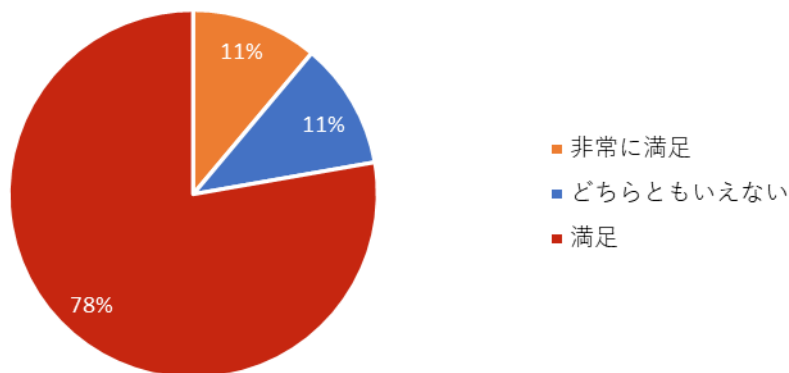
会場の様子②



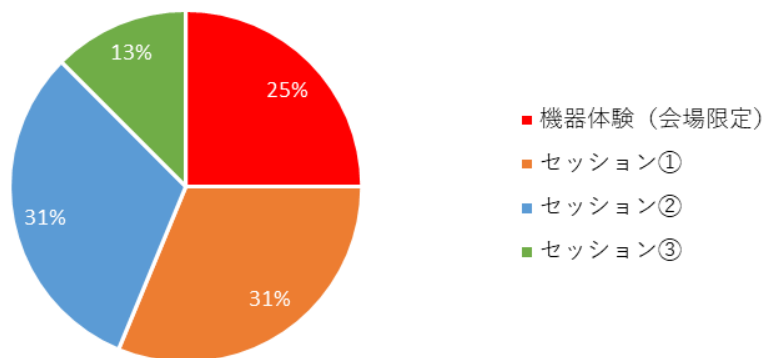
アンケート集計

■ アンケート集計：母数9名

セミナーの満足度



印象に残った項目



■ 主なコメント

- ・ 障害のある方がeスポーツに取り組む意義について、具体的なエピソードを通じて理解が深まりました。
- ・ 特に障がい者・高齢者向けのeスポーツに関して、作業療法士の現場の目線から聞くことができ、貴重な経験となりました。
- ・ 今後新たに機器を導入する際はeスポーツで使う前提に購入や配置を考えていきたい。
- ・ もう少し数字データや具体的な当日のケアするべきマニュアルなどの提示があると嬉しかった
- ・ 地方への波及についてJeSU本部と支部の連携や、地方での開催のような取り組みを進めてほしい

実施後所感

■所管

講義セッションでは、作業療法士の現場の目線から実例を交えて話をしたことが好評で、理解を深める一助になった様子であった。

グループディスカッションでは、悩みを共有するうちに共通の課題が見え始め、活発な意見交換に繋がった。主には、eスポーツや障がい福祉への取り組みに関し「どのように展開すべきか分からない」とのことで、イベントなどの実施に至るまでの具体例を希望する参加者が多かった。また、「実際に機器を体験できたことが大きな学びとなった」との声も多く、職場に持ち帰り、職員で体験し理解を深めることが重要だという意見も多数見られた。

事後アンケートでは、参加者の約9割が「満足」以上を選択しており、7月開催のセミナーに重ねて、今後のセミナー開催に向けて、実施内容への自信を深めた。